

疾病治療論Ⅳ（小児）

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・高橋明雄

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：31

■ 授業概要

人体の基本構造と機能を理解したうえで、主な疾患の病因及び症候と診断について基本的知識を修得し、さらに最新の治療方法について理解を深められるよう教授する。

具体的には、新生児医療や遺伝性疾患をはじめ、小児の代表的な疾患とその治療について学修し、小児看護学を学ぶ上での基礎となるよう教授する。

■ 到達目標

1. 小児の先天性疾患について、先天異常の分類や成り立ちについて説明できる。
2. 小児の代表的な疾患（新生児疾患、アレルギー疾患、代謝疾患、内分泌疾患、感染症、免疫・リウマチ性疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、腎泌尿器疾患、血液腫瘍疾患、神経性疾患）について病因や症状、治療について説明できる。
3. 小児外科領域の疾患と外科的治療について治療や管理方法について説明できる。
4. 医療的ケア児と移行期支援について説明できる。

■ 教育内容

人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進

■ キーワード

新生児疾患 先天異常 小児内科疾患 小児救急 医療的ケア児

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

| 回 | 授業項目 | 授業内容・授業方法 | 担当 |
|---|--|------------------------------------|----|
| 1 | 新生児疾患、先天異常 | 先天異常の分類や発症機序 疾患の病態と症状・診断・治療 | 高橋 |
| 2 | アレルギー疾患、代謝疾患、内分泌疾患 | 疾患の病態と症状・診断・治療 | 高橋 |
| 3 | 感染症、免疫・リウマチ性疾患 | 疾患の病態と症状・診断・治療 | 高橋 |
| 4 | 呼吸器疾患、循環器疾患 | 疾患の病態と症状・診断・治療 | 高橋 |
| 5 | 消化器疾患、腎・泌尿器疾患 | 疾患の病態と症状・診断・治療 | 高橋 |
| 6 | 血液疾患、腫瘍性疾患 | 疾患の病態と症状・診断・治療 | 高橋 |
| 7 | 神経系疾患、神経発達症、心身症 | 疾患の病態と症状・診断・治療 | 高橋 |
| 8 | 小児外科疾患、眼・耳鼻咽喉・皮膚疾患、救急、 医療的ケア児、移行期医療 | 疾患の病態と症状・診断・治療 医療的ケア児と移行期医療について | 高橋 |

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

期末試験 100%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・授業中に提示する質問への回答については、学務課を通して行う。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
小児看護学 ③ 小児の疾患と看護

■ 参考書・参考資料等

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

教科書や配布資料で予習、復習をすること。詳細は授業時等に指示する。

■ 担当教員からのメッセージ

量が多いので予習をしてから授業にのぞみ、復習もしてください。
授業中に理解して覚えるつもりで授業に集中してください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

学務課へお問い合わせください。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

医師（小児科専門医）

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

小児専門病院での、医師（小児科専門医）及び新生児科医としての、実務経験をもとに実践的な（医療現場で必要な知識等）講義を行っている。